

1 単元名 視点を变えて物語を書き換えよう「少年の日の思い出」

2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元では、単元を貫く言語活動として、「読み取ったことを基にして、視点を变えて物語を書き換える」ことを位置付けた。本単元で行う書き換えは、文章から必要な情報を読み取って整理し、それを基にして書き換える活動である。文学的文章には登場人物が複数存在し、それらが関わり合っ
て物語が展開していく。物語の語り手以外の視点から書き換えることで、登場人物の人物像や心情を読み取り、内容の理解に役立てることができ
るであろう。したがって、本単元でねらう「場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること」(C読むことウ)を実現するの
にふさわしい言語活動であると考えた。

3 単元について

(1) 生徒観

本学級の生徒に対して、平成26年度学力診断のためのテストで出題された文学的文章に関する問題を解く実態調査(平成*年*月*日実施、第1学年*組*名)を行った。その結果、「文脈に即して場面の状況を読み取る力」、「文脈に即して適切な語句を用いる力」、「文脈に即して登場人物の行動を読み取る力」に関しては、いずれも正答率が*%を超えていた。その一方で、「文脈に即して登場人物の心情を読み取る力」の正答率は*%、「内容を読み取る力」の正答率は*%であった。また、授業の文学的文章の学習においては、物語の続きを書く言語活動を1学期に行ったが、物語の展開を踏まえることができず、叙述を結び付けて読むことができない生徒が多かった。以上のことより、本学級の生徒は、登場人物の心情について読み取ること、場面の展開を捉えて物語の内容を読み取ることに課題があるということが分かる。場面の展開を捉え、登場人物に関する描写から心情や人物像を読み取ること、文章全体から関連のある叙述を結び付けて読む指導が十分でなかったと考えられる。

(2) 教材観

本単元で扱う文学的文章「少年の日の思い出」は、現在と回想の二つの場面で構成されている。生徒にとってこのような構成の文学的文章の学習は初めてであり、物語の展開については理解しにくいであろう。また、物語の中心部分となる第二場面では、「僕」が少年の日の思い出について語る内容になっており、「僕」の視点から物語が展開されている。1学期に文学的文章「遠い山脈」「さんちき」で既習した、人物に関する描写に着目しながら読む言語能力を生かし、まずは場面の展開を適切に押さえられるようにしたい。その後、視点を变えて物語を書き換える言語活動を行えば、登場人物の心情や人物像を的確に読み取ることができると考える。以上のことから、場面の展開や登場人物の描写に注意して読む能力を育成するのに適した教材であると言える。

(3) 指導観

本単元では、視点を变えて物語を書き換える言語活動を設定し、場面の展開や登場人物の描写に注意して読む能力を育成する。本単元で行う文章の書き換えは、「僕」以外の登場人物の視点から行っていく。自分が想像したこと
から自由に書いていく創作活動ではなく、題材文から必要な情報を読み取って整理し、本文との整合性を保ちながら書き換えていく活動である。文学的文章には登場人物が複数存在し、それらが関わり合っ
て物語が展開していくことから、登場人物の人物像や心情を読み取ることが必要となる。よって、語り手となっている「僕」以外の視点から書き換えることで、人物の相互関係に基づいた会話や行動、情景などから、登場人物の心情や人物像などを多面的に捉えられるようにしたい。以上のような活動を通して、文章の展開を把握し、登場人物の心情や人物像について描写からの的確に読み取るようになり、場面の展開や登場人物の描写に注意して読む能力を育てていきたい。

4 単元の目標

- 作品の展開や登場人物の描写に興味をもち、進んで文章を読もうとする。(関心・意欲・態度)
- 視点を定めて文章を読み、登場人物の心情や人物像を描写からの確に読み取ることができる。
(読むこと)
- 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めると共に、文章の中の語彙について関心をもつことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・作品の展開や登場人物の描写に興味をもち、進んで文章を読もうとしている。	・視点を定めて文章を読み、登場人物の心情や人物像を描写からの確に読み取っている。	・事象や行為などを表す多様な語句について理解を深め、文章の中の語彙について関心をもっている。

6 単元の指導計画 (8時間扱い)

次	時	主な学習活動	主な評価	
一	1	物語を書き換えるという目的をもち、「少年の日の思い出」を読んで物語の概要を捉える。	並 行 読 書 文 学 的 文 章	・物語を書き換えるという目的をもち、「少年の日の思い出」を読んで物語の概要を捉えようとしている。 (国語への関心・意欲・態度)
				・文章の中の語彙について関心をもち、語句の意味を理解している。 (言語についての知識・理解・技能)
				・場面展開や描写に着目し、根拠を明確にして作品を四つの場面に分けている。 (読む能力)
				・二項対立チャートを用いて、登場人物の性格や考え方が分かる描写を整理し、人物像について読み取っている。 (読む能力)
				・事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めている。 (言語についての知識・理解・技能)
				・視点を定めて文章を読み、「エーミール」の心情を描写からの確に読み取っている。 (読む能力)
二	2	場面展開や描写に着目し、作品を四つの場面に分ける。	文 学 的 文 章	・文章の中の語彙について関心をもち、語句の意味を理解している。 (言語についての知識・理解・技能)
				・場面展開や描写に着目し、根拠を明確にして作品を四つの場面に分けている。 (読む能力)
				・二項対立チャートを用いて、登場人物の性格や考え方が分かる描写を整理し、人物像について読み取っている。 (読む能力)
				・事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めている。 (言語についての知識・理解・技能)
				・視点を定めて文章を読み、「エーミール」の心情を描写からの確に読み取っている。 (読む能力)
				・書き換えた文章から、「僕」と「エーミール」の人物像について捉え直し、自分の言葉でまとめる。 (読む能力)
三	3	「僕」と「エーミール」の性格や考え方が分かる描写から、人物像について読み取る。	文 学 的 文 章	・場面展開や描写に着目し、根拠を明確にして作品を四つの場面に分けている。 (読む能力)
				・二項対立チャートを用いて、登場人物の性格や考え方が分かる描写を整理し、人物像について読み取っている。 (読む能力)
				・事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めている。 (言語についての知識・理解・技能)
				・視点を定めて文章を読み、「エーミール」の心情を描写からの確に読み取っている。 (読む能力)
				・書き換えた文章から、「僕」と「エーミール」の人物像について捉え直し、自分の言葉でまとめる。 (読む能力)
				・読み取った内容を基にして、「僕」の心情を捉えている。 (読む能力)
⑦	蝶を指で粉々にしてしまったときの「僕」の心情を考える。	蝶を指で粉々にしてしまったときの「僕」の心情を考える。	文 学 的 文 章	・「僕」の心情や人物像を読み取り、物語を語り手以外の視点から捉えている。 (読む能力)
				・書き換えた互いの作品を読み合い、物語について自分の考えを発表している。 (読む能力)
⑧	書き換えた作品を互いに読み合い、物語について自分の考えを発表する。	書き換えた作品を互いに読み合い、物語について自分の考えを発表する。	文 学 的 文 章	・「母」の心情や人物像を読み取り、物語を語り手以外の視点から捉えている。 (読む能力)
				・書き換えた互いの作品を読み合い、物語について自分の考えを発表している。 (読む能力)

7 本時の学習

(1) 目標

物語の展開や人物に関する描写を基にして、「母」の心情や人物像を読み取ることができる。

(2) 準備・資料

電子黒板, タブレットPC, ワークシート

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価 ◎は個への支援
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>物語を「母」の視点から書き換え、語り手以外の視点から物語を捉えよう。</p> </div> <p>2 適切な書き換えの方法を、グッドモデルと不完全モデルを比較して確認する。</p> <p>(1) 不完全モデルを見て自分で考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>彼はオレにコムラサキを見せた。僕は専門家らしくそれを鑑定し、二十ペニヒぐらいの現金の値打ちはある、と値踏みした。しかしそれから、僕は難癖をつけ始め、展翅の仕方が悪いとか、……(中略) 彼はその欠点をたいしたものとは考えなかったが、こつぴどい批評家のため、彼の獲物に対する喜びをかなり傷つけたようだった。</p> </div> <p>(2) ペアで考える。</p> <p>(3) 考えを発表し、全体で確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主語 ・エーミールの行為に関する描写 ・人物像についての表現 <p>3 物語を「母」視点から書き換える。</p> <p>教科書(原文)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>母が根掘り葉掘り聞こうとしないで、僕にキスだけして、構わずにおいてくれたことをうれしく思った。僕は、床にお入り、と言われた。</p> </div> <p>リライトの例 ↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>私は根掘り葉掘り聞こうとはせず、息子にキスだけした。彼は、許されはしなかったかもしれないが、少し大人へと近づいたかもしれない。</p> </div> <p>4 お互いの作品をグループで読み合う。</p> <p>(1) グループでワークシートを交換し、お互いの作品を読み合う。</p> <p>(2) お互いの作品のよくできている点や、さらによくするためにはどうしたらよ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動のつながりを確認し、単元全体の中での本時の位置付けを確認する。 ・前時までの学習内容を確認し、そのことをさらに深めるための学習であることを説明し、目的意識を高める。 <ul style="list-style-type: none"> ・物語の書き換えについては学習済みであるので、定義については掲示資料を用いた説明で簡単に確認する。 ・不完全モデルを黒板に掲示し、改善するべき点を見付け、理由も併せて説明するように指示する。 <p>◎思うように改善点を見つけられない生徒に対しては、改善点として指摘するべき箇所の数をヒントとして示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不完全モデルは以前に書き換えた箇所を使用し、学習した内容を活用できるようにする。 ・隣の座席の生徒と1分程度で答えを確認し合う。 ・代表生徒数名に発表させ、全体で書き換えるべき点について確認し、共有できるようにする。 ・理由も併せて説明させ、根拠を明確に述べるよう助言する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「正解」はないが「よりよい表現」はあることを確認し、一つ一つの表現について考えて書くように助言する。 ・各自が書いた作品を後でお互いに読み合うことを確認し、相手意識をもたせる。 ・相談はせず、個人で書くように指示し、各自が落ち着いて物語に向き合えるようにする。 ・書き終わった生徒には、何度も読んで推敲するように助言する。 <p>◎書く活動が滞っている生徒には、不完全モデルを用いて、確認した適切な書き換えの方法について助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループについては事前に指定しておき、すぐに活動に入れるようにする。 ・活動時間を明示することで、見通しをもって活動できるようにする。 ・改善点を指摘した場合は、どのように改善すればよいのか、具体的な指摘になるように助言す

いかについて話し合う。

(交流の視点)

* 「母」の視点に変わっているか

* 「母」の心情を表す表現は適切か

(3) 自分の作品を見直し、修正をする。

(4) 代表者が学級全体で発表する。

(聞く観点)

* 「母」の心情を表す表現について

* 「母」から見た「僕」についての表現について

5 本時の学習を振り返る。

・物語を「母」の視点から書き換えることができたか。

・交流を通して、自分の作品を見直すことができたか。

6 次時の学習の見通しをもつ。

る。

・同じ箇所の書き換えをしても、表現は生徒それぞれで異なるので、より適切な表現はどれか検討させる。

・交流で聞いた意見を参考にして修正を行い、必要がない場合は無理に修正を行わなくてもよいことを伝える。

(評)「母」の心情や人物像を読み取り、物語を語り手以外の視点から捉えている。

【読む能力(ワークシート)】

・机間指導の際に生徒の作品を評価し、適切に書き換えている生徒を意図的に指名して発表させる。

・代表生徒の作品をタブレットPCを用いて電子黒板で掲示し、視覚的に確認できるようにする。

◎うまくまとめられなかった生徒に対しては、友達の作品のよくできている部分を、自分の作品に積極的に取り入れるように助言する。

・本時の学習を振り返らせ、学習カードにできるようになったことや学んだことを書かせ、学習のまとめとする。

・意図的に2～3名の生徒を指名し発表させることにより、本時の学習の成果を確認し合う。

・次時は、書き換えた作品を互いに読み合い、物語について自分の考えを発表することを確認する。